



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月4日
東

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社 上場取引所
 コード番号 7705 URL <https://www.gls.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 長見 善博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 芹澤 修 (TEL) 03-5323-6633
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,943	△1.8	1,784	△22.7	1,890	△22.8	986	△33.5
2019年3月期第3四半期	18,273	9.2	2,307	32.2	2,448	29.4	1,484	26.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,101百万円(△27.3%) 2019年3月期第3四半期 1,515百万円(△5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	96.18	—
2019年3月期第3四半期	144.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	32,900	24,140	63.5
2019年3月期	32,080	23,489	63.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 20,892百万円 2019年3月期 20,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,850	0.2	2,480	△17.0	2,480	△21.0	1,550	△22.7	151.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期3Q	11,190,000株	2019年3月期	11,190,000株
2020年3月期3Q	930,101株	2019年3月期	930,058株
2020年3月期3Q	10,259,918株	2019年3月期3Q	10,259,974株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした設備投資や個人消費の回復が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。世界経済は、米中貿易摩擦の影響や中国経済の減速懸念、英国のEU離脱を巡る混迷など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境下におきまして、当社グループは、2018年度からスタートした中期経営計画(3ヵ年)の達成に向けて、成長と収益力及び品質の向上、海外戦略の推進、人材基盤や情報管理の強化等に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、17,943百万円(前年同期比 1.8%減)となりました。損益につきましては、営業利益 1,784百万円(前年同期比 22.7%減)、経常利益 1,890百万円(前年同期比 22.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 986百万円(前年同期比 33.5%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(分析機器事業)

分析機器事業におきましては、国内は堅調に推移しましたが、海外では中国・インドの景気減速も影響し、前年同期と比べると売上高全体では微減となりました。

装置の売上高につきましては、大気、水質、土壌、受託分析関連は好調に推移しましたが、製薬、香料、化学工業、電気関連が減収となり、装置全体の売上高は前年同期比で微増となりました。

消耗品の売上高につきましては、国内では大気、水質、土壌、受託分析、無機分析関連が堅調に推移し前年同期に比べ増収となりましたが、海外では中国、インド向け液体クロマトグラフ用カラム、ガスクロマトグラフ用キャピラリーカラムの減収が響き、消耗品全体の売上高は前年同期並みとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 10,354百万円(前年同期比 0.2%減)、営業利益は 752百万円(前年同期比 17.6%減)となりました。

(半導体事業)

半導体業界におきましては、昨年秋以降、米中貿易摩擦等の影響から、メモリー投資の減速、データセンター関連需要の低迷等、先行きの需給動向を慎重に見極める状況が続いていましたが、足元では、半導体メーカーおよび半導体装置メーカー各社の将来見通しは回復基調にあり、昨年秋以降の踊り場局面からの脱却も十分視野に入ってきております。

なお、今後につきましては、5G通信やIoT、人工知能、ディープラーニング、自動運転の本格化、次世代ゲーム機の登場等でデータ量の更なる増加が見込まれ、中長期的な半導体需要のトレンドは引き続き拡大していくとの見方は不変です。

このような環境の中、当事業は、前年同期の水準までは回復しておりませんが、足元の受注も増加傾向に転じつつあり、これまでに蓄えた豊富な受注残高を背景に、原材料の多様化等による原価率低減も相俟って、売上・利益ともに通期計画の達成が可能な水準まで積み上げることができました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 6,697百万円(前年同期比 3.5%減)、営業利益は 1,085百万円(前年同期比 20.4%減)となりました。

(自動認識事業)

自動認識事業におきましては、医療機器関連、アクセスコントロール関連が順調に推移したものの、大型案件の納入が先送りとなったこともあり、売上高全体では前年同期比で減収となりました。

製品分類毎の売上高は、「モジュール」は医療機器・警備機器関連向けが好調でしたが、終息したアミューズメント関連をカバーしきれず、前年同期を下回りました。「完成系製品」では卓上型、壁付型は堅調に推移しましたが、新型インテリジェントターミナルの完成が遅れていることが影響し、前年同期を下回りました。

「タグカード」はOEM製品が軌道に乗らず、前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 892百万円(前年同期比 6.8%減)、損益につきましては利益率の低い案件の売上や品質向上改革のための経費増加が影響し、営業損失は 57百万円(前年同期は営業利益 27百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は商品及び製品の増加などにより20,342百万円(前連結会計年度末に比べ 648百万円の増加)となりました。固定資産は建物及び構築物の減少や投資その他の資産の増加などにより12,557百万円(前連結会計年度末に比べ 171百万円の増加)となりました。その結果、資産合計では 32,900百万円(前連結会計年度末に比べ 820百万円の増加)となりました。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は未払法人税等の減少などにより6,518百万円(前連結会計年度末に比べ 169百万円の減少)となりました。固定負債は長期借入金の増加などにより 2,240百万円(前連結会計年度末に比べ 338百万円の増加)となりました。その結果、負債合計では 8,759百万円(前連結会計年度末に比べ 169百万円の増加)となりました。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は利益剰余金の増加などにより 24,140百万円(前連結会計年度末に比べ 650百万円の増加)となりました。自己資本比率は 63.5%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,415,249	5,801,907
受取手形及び売掛金	8,422,206	7,727,836
商品及び製品	1,573,828	2,241,294
仕掛品	1,795,034	2,242,743
原材料及び貯蔵品	2,188,812	2,149,831
その他	302,376	199,150
貸倒引当金	△3,602	△20,105
流動資産合計	19,693,904	20,342,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,931,092	3,807,277
土地	3,406,791	3,406,791
その他（純額）	2,898,825	3,028,748
有形固定資産合計	10,236,709	10,242,817
無形固定資産	369,107	360,670
投資その他の資産		
その他	1,781,552	1,955,783
貸倒引当金	△1,267	△1,732
投資その他の資産合計	1,780,285	1,954,051
固定資産合計	12,386,102	12,557,539
資産合計	32,080,006	32,900,198
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,422,572	3,109,892
短期借入金	1,239,338	1,688,072
未払法人税等	636,738	104,717
賞与引当金	533,873	271,253
その他	855,621	1,344,976
流動負債合計	6,688,144	6,518,911
固定負債		
長期借入金	1,246,508	1,542,282
役員退職慰労引当金	88,432	79,782
退職給付に係る負債	222,180	190,476
その他	345,099	428,205
固定負債合計	1,902,220	2,240,745
負債合計	8,590,364	8,759,657

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,795	1,207,795
資本剰余金	1,820,591	1,820,956
利益剰余金	17,532,192	18,108,637
自己株式	△509,262	△509,326
株主資本合計	20,051,316	20,628,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356,000	399,396
繰延ヘッジ損益	△2,618	△555
土地再評価差額金	△312,234	△312,234
為替換算調整勘定	215,328	91,777
退職給付に係る調整累計額	108,100	85,878
その他の包括利益累計額合計	364,577	264,263
非支配株主持分	3,073,748	3,248,216
純資産合計	23,489,642	24,140,541
負債純資産合計	32,080,006	32,900,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	18,273,018	17,943,650
売上原価	11,682,558	11,858,445
売上総利益	6,590,460	6,085,205
販売費及び一般管理費	4,283,142	4,300,965
営業利益	2,307,317	1,784,239
営業外収益		
受取配当金	26,041	27,604
為替差益	67,623	38,953
持分法による投資利益	22,454	—
還付金収入	—	23,491
補助金収入	13,646	16,808
その他	31,280	17,154
営業外収益合計	161,046	124,011
営業外費用		
支払利息	15,638	15,227
その他	4,107	2,030
営業外費用合計	19,746	17,258
経常利益	2,448,617	1,890,993
特別利益		
投資有価証券売却益	9,139	—
固定資産売却益	199	299
関係会社株式売却益	311,084	—
特別利益合計	320,424	299
特別損失		
固定資産除却損	22,741	12,341
特別損失合計	22,741	12,341
税金等調整前四半期純利益	2,746,300	1,878,952
法人税、住民税及び事業税	825,851	456,327
法人税等調整額	98,958	155,985
法人税等合計	924,809	612,312
四半期純利益	1,821,491	1,266,640
非支配株主に帰属する四半期純利益	336,895	279,797
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,484,595	986,842

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,821,491	1,266,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△211,030	40,437
繰延ヘッジ損益	14,180	2,063
為替換算調整勘定	△119,828	△185,108
退職給付に係る調整額	29,967	△22,221
持分法適用会社に対する持分相当額	△19,473	—
その他の包括利益合計	△306,184	△164,829
四半期包括利益	1,515,307	1,101,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,223,637	886,528
非支配株主に係る四半期包括利益	291,669	215,281

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。